

授業科目 臨床実習 III

【担当教員名】 山岸 達弥 他		対象学年	4	対象学科	言語
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	8	時間数	360
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
<p>1. 学外総合実習である 学内セミナーを実習の前に行う 事前セミナーでは、障害領域での評価、指導法、効果評価法を学習、演習する</p> <p>2. 学外施設において臨床実習指導者の下で実習を行う</p>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<p>1. 言語聴覚障害の治療（指導）に必要な基礎知識や医学的知識と臨床技術との統合をはかり、言語聴覚士としての技量を養成する</p> <p>2. 将来言語聴覚士を志すものとして、指導の現場で、評価、指導計画、指導の一部を実際に体験する</p> <p>3. 実習内容を的確に記録する</p> <p>4. 実習した症例を報告書にまとめる</p>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	オリエンテーション  学外施設で実習する				セミナー  実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
<p>1. 出席状況、実習指導者からの評価</p> <p>2. 実習記録・症例報告書に対する学内教員による評価</p> <p>以上を総合して評価する。</p>					